

令和元年度 第1回銚田市まち・ひと・しごと創生有識者会議 委員による地方創生推進交付金事業の評価結果【委員19名全員評価】

No.	事業名	事業の評価		実績値を踏まえた事業の今後について			
		評価	評価に対する意見・理由	今後の方針	今後の方針を選んだ理由		
1	ほこたブランド推進事業	①本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	18	<ul style="list-style-type: none"> ・メロン・イチゴを主に、PRを積極的に継続し、他には水菜等もイベントに合わせ実施してほしい。(併せて豚肉等も) ・市長はじめ、市行ったとなって取り組んでいる姿勢が見えるので良い。 ・PRは各地でのイベントや動画等で効果をあげており、茨城のメロンは、知られてきていると思うので引き続き行っていくべきだと思う。しかし、メロン農家の減少、メロン以外のPRもしていく方が良い。 ・市長自らが消費地に出向き、トップセールスを行った成果が良く表れていると思います。 ・これまでの活動に対し、カミナリが有名になり、どんどんPRしてブランド化し、単価を上げて購入してくれます。 ・メロンのPRは良かった。今後のメロン農家の減少を止める必要がある。メロン農家の育成(新規を増やす目的) ・人気のタレント、芸人さんが茨城出身でいることで、アピールできるのはいいと思います。その年に旬な方がいれば認知度はUPしますが…、いない場合は、他の方法を探さなくてはなりませんね。 ・このブランド推進事業をきっかけか、県外や都内の人から「銚田といえばメロン」というような話を耳にすることが増えました。私自身の「銚田に対するイメージ」が変わったこともあり、一個人としても有効であったと実感しています。 ・農業産出額、新規就農者数、農業所得が目標達成できたことは、取組事業が有効であったと思われる。 ・産出額のアップや県外でのPRには一定の効果があった。農業以外の市民に地元農業者などとの連携、直売所の未達成など課題。 ・銚田メロンのブランド力の増大に寄与したものと思われる。メディア等でよく見えるようになった。 ・各々の取組事業(イベント)がどの程度影響しているのか計り知れない部分もあるが、4つのKPIのうち3つのKPIが達成しており、有効であったと評価すべきである。取組の活動量が多く評価できる。 ・もっと茨城県内でアピールしてもらいたい。メロンのPRをもっとふやしてもらいたい。予算をもっと増やしてもらいたい。 ・新規就農者数の達成が評価されるが、直売所入込数の減少が気にかかる。 ・メディアの活用で銚田のイメージアップが図れた。農作物のPRで、子ども達に銚田の魅力が伝わり、後継者づくりの一端となった。就農者の確保にもつながった。 ・収入人口も増へ農業所得の増加は他の産業にも波及効果をもたらす。 ・銚田市の基幹産業である農業を、魅力として発信することは良いと思う。(ただ事業は別になると思うが、後継者(生産農家)の確保、維持を図る施策も併せて取組む必要がある。特に減少が著しいメロン農家) 	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させるべきである(事業拡大)。	16	<ul style="list-style-type: none"> ・銚田のトップ産業である農業を積極的に全国に知らしめたい。売る事だけを考えてでなく、作る立場のことも考えるべきでは。(ハウスの助成など) ・PR、販路拡大とあわせて、安定・安心な生産体制を進めてほしい。 ・メロンの知名度アップは進んでいると思われるので、継続して行っていき、その他の農産物のPR又は銚田という名前のPRをもっと行ってほしい。 ・SNS等も活用し、更に知名度UPを図って下さい。 ・これからもやったほうが良い。カミナリという有名人がいるのでプラスになる。メロン以外もついでにPRすると良い。 ・メロン以外の作物、畜産などに力を入れて事業拡大してほしい。 ・直売所の入込客数ですが、今までうまくかっぺの行事が鹿島灘海浜公園でした。(2日間)昨年は町中で1日でした。その影響もあるのでは… ・「ほこたブランド」を広めていくにあたって、やはり効果が見込めると感じました。「かっこいい」や「オシャレ」などは、継続して欲しいです。 ・メロン以外の農産物、いちご、トマト、葉物野菜等についてもPR活動をして、銚田の農産物の良さを広めて欲しい。 ・基幹産業である農業強化は優先課題 ・更に取り組みをするべきである。事業費を増加してもよいと思う。宣伝効果がバツグンであると思われる。 ・ブランディングには継続性が必要でありコストもかかる。ブランドイメージをより明確にすべきである。(特にメロン)マーケティングを取り入れ、次回のイベント(取組事業)に活かすべきである。(リピーターの増加など) ・実績値が伸びている。さらに期待する。 ・茨城はPRが下手。銚田市が先行している。 ・事業の継続は、更なる発展につながる。メディアの活用はさらに増やすとよい(カミナリ、磯山さやか) ・宣伝の更なる実施と銚田市の更なるイメージアップをはかる。
			0	②特に見直しの必要がなく今後も事業を継続すべきである(事業継続)。	0		
			3	③事業内容の見直し(改善)を行うべきである。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランドを立てるなら1品に絞るべき。(メロンならメロン)農産物全体を考えすぎ。メロンシーズン終了後に何を売るのか考えるべき。(加工品等) ・主力農産物であるメロンを前面に出すことは、やむを得ないと思うが、今後を考えた時、他の農産物のPR方法にも意識を向けた方がよいのではないかと。 	
			0	④事業実施を中止すべきである。	0		
	無回答	0		無回答	0		
2	鹿行広域DMOプロジェクト	①本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	11	<ul style="list-style-type: none"> ・銚田市内の入込客について観光資源を活かしていない。プロモーション・コーディネート充実させるべき。 ・合宿等の参加者数も基準年度と比較して伸びているので、有効であったと思う。 ・農業体験で収益がこれだけあった事がおどろいた。 ・H28からH30と観光入込客数、スポーツ合宿参加者数は増加しているため、有効であったと思う。 ・鹿行地域全体のことであるが、人の還流は出来ていると言える。 ・地域の活性化には、欠かせないと思います。PRすることでのイメージづくりは効果的であった。地域への誇りと愛着をもたせるきっかけになっている。 ・実績値は目標値を下回ったが、数年後を目標として更なる事業に取り組む事を望む。 ・数値で見れば効果があったととらえられる。しかし、事業の内容があまり見えない。 	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させるべきである(事業拡大)。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・達成度が低い項目もあるので、更に創意工夫して頂きたい。 ・アントラーズのホームタウンとして、試合観戦に地域住民もたくさん行って盛り上げていくべきだと思う。 ・とっぷさんと活用した、サーフィン、ゴルフ等の合宿を考えてはどうか。 ・茨城空港、高速道路の活用による観光客の呼び込み。
			6	②特に見直しの必要がなく今後も事業を継続すべきである(事業継続)。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・これからは、日本人の観光の数よりも、外国人の観光地が最も経済を上げるのでどんどん合宿等に実施した方が良い。 ・東京オリンピックもあるため、今後の取り組みが大切である。 ・スポーツ合宿、スポーツイベント参加者が増加しているので、このまま続けていければと思う。 ・現状で結果はまだ図れず。次年度どうなるか。 ・1年だけでは評価は無理であり、継続して数年後を見てみたい。 	
			8	③事業内容の見直し(改善)を行うべきである。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿行5市の中で、銚田の受ける恩恵がないに等しい。農業体験をうたっているが、ファーマーズヴィレッジには到底かなわなく無駄が多いと考える。 ・全体的には良いが、銚田市の貢献が必要である。 ・ゴルフ場などは、非常に数が多く、他県からきている人も多いので、それを活かしたイベント等を行ってみてはどうか。 ・観光事業に力を入れる必要性はあるため、さらに工夫、改善をお願いしたいと考えます。スポーツ合宿は、さらに力を入れて欲しいです。 ・具体的な内容の検討、準備など。 ・アントラーズ=鹿島のイメージが強く、銚田があまり見えない事業である。自走化できるか疑問である。 ・メルカリとの事業連携が心配される。 ・経済効果が薄い。 ・事業の概要、取組み状況、成果等全体的によくわからない。効果が実感できない。もっと外へ発信すべきでは。 	
			0	④事業実施を中止すべきである。	0		
	無回答	0		無回答	0		

No.	事業名	事業の評価		実績値を踏まえた事業の今後について			
		評価	評価に対する意見・理由	今後の方針	今後の方針を選んだ理由		
2	鹿行広域DMOプロジェクト	①本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	11	<ul style="list-style-type: none"> ・銚田市内の入込客について観光資源を活かしていない。プロモーション・コーディネート充実させるべき。 ・合宿等の参加者数も基準年度と比較して伸びているので、有効であったと思う。 ・農業体験で収益がこれだけあった事がおどろいた。 ・H28からH30と観光入込客数、スポーツ合宿参加者数は増加しているため、有効であったと思う。 ・鹿行地域全体のことであるが、人の還流は出来ていると言える。 ・地域の活性化には、欠かせないと思います。PRすることでのイメージづくりは効果的であった。地域への誇りと愛着をもたせるきっかけになっている。 ・実績値は目標値を下回ったが、数年後を目標として更なる事業に取り組む事を望む。 ・数値で見れば効果があったととらえられる。しかし、事業の内容があまり見えない。 	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させるべきである(事業拡大)。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・達成度が低い項目もあるので、更に創意工夫して頂きたい。 ・アントラーズのホームタウンとして、試合観戦に地域住民もたくさん行って盛り上げていくべきだと思う。 ・とっぷさんと活用した、サーフィン、ゴルフ等の合宿を考えてはどうか。 ・茨城空港、高速道路の活用による観光客の呼び込み。
			6	②特に見直しの必要がなく今後も事業を継続すべきである(事業継続)。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・これからは、日本人の観光の数よりも、外国人の観光地が最も経済を上げるのでどんどん合宿等に実施した方が良い。 ・東京オリンピックもあるため、今後の取り組みが大切である。 ・スポーツ合宿、スポーツイベント参加者が増加しているので、このまま続けていければと思う。 ・現状で結果はまだ図れず。次年度どうなるか。 ・1年だけでは評価は無理であり、継続して数年後を見てみたい。 	
			8	③事業内容の見直し(改善)を行うべきである。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿行5市の中で、銚田の受ける恩恵がないに等しい。農業体験をうたっているが、ファーマーズヴィレッジには到底かなわなく無駄が多いと考える。 ・全体的には良いが、銚田市の貢献が必要である。 ・ゴルフ場などは、非常に数が多く、他県からきている人も多いので、それを活かしたイベント等を行ってみてはどうか。 ・観光事業に力を入れる必要性はあるため、さらに工夫、改善をお願いしたいと考えます。スポーツ合宿は、さらに力を入れて欲しいです。 ・具体的な内容の検討、準備など。 ・アントラーズ=鹿島のイメージが強く、銚田があまり見えない事業である。自走化できるか疑問である。 ・メルカリとの事業連携が心配される。 ・経済効果が薄い。 ・事業の概要、取組み状況、成果等全体的によくわからない。効果が実感できない。もっと外へ発信すべきでは。 	
			0	④事業実施を中止すべきである。	0		
	無回答	0		無回答	0		

令和元年度 第1回銚田市まち・ひと・しごと創生有識者会議 委員による地方創生推進交付金事業の評価結果【委員19名全員評価】

No.	事業名	事業の評価		実績値を踏まえた事業の今後について						
		評価	評価に対する意見・理由	今後の方針	今後の方針を選んだ理由					
3	ラムサール条約登録湿地「潤沼」を生かした広域観光等推進事業	①本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	15	<ul style="list-style-type: none"> ・数字で見ると結果が目標を超えている。 ・世界的資源である潤沼を積極的にPRして行くべき。 ・事業内容からして短期間で効果をあげるの難しいと思うので、地道なPR活動をしていくしかないと思う。 ・知名度の向上には良い数字が出ていると思います。観光客集客ももう少し上がるように、更に計画を発展させてください。 ・アクセス数については良いと言える。学習会の数も多く良い。販売売上もよいと思う。 ・達成度を見ると達成はしているが、観光地とするならもっと整備をしたりすることが必要。 ・ひめまの会HPアクセス数、環境学習会参加者数等が増加しているのので、有効であったと思われる。 ・持続可能な事業主体にするためには、行政の支援が必要。教育機関や研究機関などとの更なる連携は不可欠。 ・更なる宣伝が必要である。 ・取組事業(イベント)が各KPIに大きく影響したとは思わないが、ホームページを作成したことは、大変良かったと思うし、少なからず、有効であったのではないかと。 ・自然環境のすばらしさをPRしてもらいたい。 ・ラムサール条約の意味が市民に浸透していない。 ・潤沼の知名度アップに効果があった。イベントへの参加者の増加やHPアクセスの増加など広がりが見られている。 ・更なる宣伝、PRを望みたい。 	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させるべきである(事業拡大)。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド戦略事業とも連携してPR活動を行っていったらどうか。 ・観光アプリの開発を行ったとのことですが、この会議で初めて知りました。 ・「潤沼」の自然を生かし、観光客等呼び込めるよう、さらに環境保全に力を入れ、PRして増やしたい。 ・目的達成のためには、運営を含め環境整備が必要。 ・銚田のイメージアップと子ども達への環境学習の取組をさらに増やしていきたいと思う。 			
					②本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地元事業の認識が薄い。世界湖沼会議も終了し、盛り上がり欠ける。 ・②③④の項目で判断しきれないと感じました。 ・現在の潤沼は観光資源とは言えない。 ・目的の一つである交流人口の増加を図るためには、事業内容がそぐわないと感じる。 	②特に見直しの必要がなく今後も事業を継続すべきである(事業継続)。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と子供たちが遊ぶことが良い。 ・いいこの村等、当市に該当している訳で、金額等とも多額ではないので、事業継続は良いのでは。 ・これからはメディアで情報を個人がとっていくものなので、どんどん情報を流していくといいと思います。 ・小学生・中学生を中心に授業に取り入れる。 ・ラムサール条約の理解、普及に努める事。
					無回答	0		③事業内容の見直し(改善)を行うべきである。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・国が条約登録を行ったので、徐々に良くなるので継続するべきです。 ・潤沼が観光が目的ではなく大洗町へのイベント参加が多いのであれば別な方法を考える必要がある。 ・銚田市として、近隣地区との協議は大切であるため、取り組みを行っていくことについては、異論はありません。 ・事業継続の場合、観光資源となるものは何か、よく考え実施すべき。環境保全をテーマとした事業継続はありと考える。 ・総事業費に対し、取組事業(イベント)が多すぎるのではないかと。限られた予算の中で、取組事業(イベント)をより絞り込んでよいのではないかと。ホームページの品質を維持してほしい。 ・目的の変更 ・地元の意識高揚も大切だが、外向きの事業内容に工夫が必要。(例えば、地域清掃活動への参加も域外、県外へ発信、募集する。)
					④事業実施を中止すべきである。	0				
		無回答	0	無回答	0					

No.	事業名	事業の評価		実績値を踏まえた事業の今後について						
		評価	評価に対する意見・理由	今後の方針	今後の方針を選んだ理由					
4	ほこたグローバルブランディング事業	①本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	17	<ul style="list-style-type: none"> ・100%の目標はとても良いと思う。 ・自然環境に対する取り組みを官民協働で推進している。 ・ノルディックロード体験会は、自然環境を知ってもらうととても有効だと思える。 ・参加者の満足度が高かったとの事ですので、同事業の継続・発展を期待したい。 ・自然が多い銚田市なので良い。 ・モニター参加者の満足度が高かったのはよかった。 ・保全活動などから地域の活性化につなげるための取組みとして、適していると感じました。 ・イベントに参加した人数がわずかながら増え、参加者は満足しているのので有効であったと思われる。 ・事業項目が多く、事業主体の自立が今後の課題。 ・モニターツアーの実施や遊歩道の整備に着手できたことは、プロジェクトが自立していくためには有効であると考えます。 ・自然環境の良さを広めてほしい。 ・この事業は個人・団体だけではなかなかできないのが、官民一体として実施しているのが良い。 ・銚田の自然のすばらしさをPRするのは素晴らしい。ガイドブック「北浦北部の自然力」の作成活用は有効。英文のガイドブックも有効。 ・銚田市の自然の良さを再発見のため、更なるPRを望む。 ・単に放置されたままの自然を有効活用する点は評価できる。 	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させるべきである(事業拡大)。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・北浦の自然を活かした環境整備を進めてほしい。生涯学習等の団体とも活動を行ってほしい。 ・遊歩木道の整備と水生植物群落の再生を継続的に行ってほしい。多くの市民にもイベントに参加できるようPRして欲しい。 ・外に見られない市民主体の事業だけに公的支援が必要。 ・豊かな自然環境を地域資源として活かそうとする取組は、時間がかかると思うが、銚田市のブランディングにはとても重要であり、事業継続(収入源の確保)が望まれる。ノルディックロードツアーは継続して欲しい。 ・自然環境を貴重な地域資源としての位置付けを深めたい。 ・賛同団体の増大を望む。 			
					②本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・圧倒的にPR不足、関係者しか実施要件がわからない。 ・ノルディックウォーキング大会を実施することが目的となっており、どんな魅力を伝えたいかがわからない。 	②特に見直しの必要がなく今後も事業を継続すべきである(事業継続)。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・銚田市の自然をそのままのこした方がいいと思う。 ・継続することで、市民に広め、活動の輪の拡大を期待する。 ・参加者の満足度が100%なので、やめる要因が無いです。 ・世界、国内、地元地域への発信を継続して行ってほしいです。 ・市民活動の参加者を増やす必要がある。 ・事業拡大にあたっては、事業費の財源が自前で確保できるようになってから。交付金は、事業の基盤作りまでを手当てするもの。市内外へのPRが必要。特定の参加者の域を出ていない気がする。
					無回答	0		③事業内容の見直し(改善)を行うべきである。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道の整備が進んだのであれば小学生等がカリキュラムに取り入れた行事とするのはどうか。 ・ノルディックウォーキングにかぎらず、ウォーキングは行っている人口も多いことから、どんな魅力を伝えたいかよく考えて継続すべきと考える。
					④事業実施を中止すべきである。	0				
		無回答	0	無回答	1					

令和元年度 第1回銚田市まち・ひと・しごと創生有識者会議 委員による地方創生推進交付金事業の評価結果【委員19名全員評価】

No.	事業名	事業の評価		実績値を踏まえた事業の今後について			
		評価	評価に対する意見・理由	今後の方針	今後の方針を選んだ理由		
5	第2のふるさと・いばらきプロジェクト推進事業	①本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	11	<ul style="list-style-type: none"> ・前回より人数が少しでも大きくなった事はいいと思う。 ・県と県内自治体と都市住民の交流・共感を得ている。 ・ふるさとに興味をもってくれれば良いかな！ ・今後、期待の持てる印象を受けました。 ・若い世代に、地元の良さなど見直すことができ、将来につながる。 ・イベントの規模が小さく効果は大きいとは言えないが、銚田市の活動が少なからずプロジェクト推進の一助となったのではないかと。地元の若者(高校生)に銚田市を改めて知る。また、自分たちに何ができるかを考える良い機会になったのではないかと。 ・農業の魅力を若者(大学生)中心にアピールする。 ・移住をPRする説明会と体験型ツアーの拡大は良いと思う。このような地道な活動を続けたい。高校生、大学生の視点を取り入れていることは、素晴らしい。 ・判断が難しいところだが、このような事業は初年度から成果は上がりにくいもの。継続が大事であると思う。 	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させるべきである(事業拡大)。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの若い人たちとの交流で、いばらきの良いところを知ってもらえてよいと思う。まちづくりコンテスト、高校だけでなく、外部での発表もあればいいのに…。→ 何かのイベントで。 ・人口、人材の確保は、非常に重要だと考えています。地元市民の「受け入れ」に対する意識を変えていくことも同時に必要なことだと感じています。 ・シティープロモーション事業は非常に素晴らしいと思う。引き続き新しい事を行ってほしい。 ・首都圏の若者をターゲットにした交流を増やしていけるとよい。
		②本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容で行っている事は良いと思うが、現時点で銚田市にそこまでの魅力がまだ無いと思う。 ・費用対効果が低すぎるのではないかと。 ・県が推進している事業だけに独自の取り組みとしては不十分。受入先の地域や住民を巻き込んだ事業内容とする工夫が必要。 ・人の還流につながっていない。 ・事業の内容等が分からない。 	②特に見直しの必要がなく今後も事業を継続すべきである(事業継続)。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人を銚田市内に定住してもらうようがんばって下さい。 ・この事により銚田の人口が一人でも増えるのであれば事業継続が望ましい。特に農業党に興味を得てもらえれば後継者問題にもつながるのではないかと。 ・市内学生等に積極的に参加の機会を増やす。 ・茨城県、銚田市の良さをPRして、移住者が少しでも増えることを願いたい。 ・湖と海が両方ある地域は珍しいので、移住する人にPRする。
		無回答	1		③事業内容の見直し(改善)を行うべきである。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・県外からの移住を増やすには、市町村の受け入れ体制の強化が必要ではないか。 ・もう少し金額をおさえて実施を出来れば。 ・銚田市としての方針が不明。 ・銚田の魅力を中心に伝えるべきである。 ・茨城県との連携があまり見えてこないのではないかと。体験型ツアーに参加された方々のご意見や他の市町村の試みを参考に有効性を高めてほしい。 ・事業評価の理由と同じである。 ・当市への移住であると、就農が前提と捉えがちであるが、農以外の職業でも移住を考えられるとよい。当市は、いわゆる「ど田舎」ではないので、田舎暮らしに憧れている方にとっては、イメージのギャップがあるのかも。
		無回答	1		④事業実施を中止すべきである。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・参加学生を集めるため、業者を使ったとの事ですが、それ程難しい事でもないと思う。それでも自力でできないのならやらない方がよい。
		無回答	0				